

# 社団法人 石油学会

## 平成16年度 事業計画案

### 1. 庶務事項

平成16年度も前年に引き続き会員拡大年間として入会金を免除し、会員の増強活動を積極的に推進する。

### 2. 講演会、討論会、研究発表会ならびに見学会等の事業

本年度の事業計画は次のとおりである。

月	日	曜	名 称	開 催 地
平成16年				
4	16	金	新エネルギー部会講演会	東京 学術総合センター
5	19	水	第45回通常総会、第47回年会 - 受賞講演、特別講演、懇親会	東京 東條會館
	20	木	受賞講演、第53回研究発表会、JPIJSポスターセッション	
6	4	金	第24回絶縁油研究発表会、懇親会	京都 京都市勤業館
7	23	金	資源部会講演会	東京 化学会館
8	27	金	第4回 回転機研究討論会	東京
10	3 4	日 月	第6回日本-クウェート研究交流	クウェート・アラブエミレー
10	20 21	水 木	精製講演会	東京
11	18	木	松山大会	松山 南海放送本町会館
	19	金	- 特別講演、第34回石油・石油化学討論会、懇親会 -	
12	2 3	木 金	石油製品討論会	東京
12	3	金	触媒シンポジウム	東京
12	9 10	木 金	第34回装置研究討論会	東京
12	5 6	日 月	第14回日本-サウジ合同セミナー	サウジ・ダラン市
平成17年				
2	10	木	第30回精製パネル討論会	東京
2	17	木	第5回電気研究討論会	東京
3	3	木	第22回計装研究討論会	東京

### 3. 研究助成

昨年度に続き、若手研究者及び部会への助成公募を行い、適格者を選考し、研究助成金を交付する。

### 4. 会務部門

#### (1) 支部活動

##### 北海道支部

- 1) 平成16年10月以降に第5回北海道支部講演会を開催の予定。
- 2) 平成16年7月24日(土)に日本化学会北海道支部と共催で、夏季研究発表会を開催(苫小牧)の予定。
- 3) 平成17年2月に日本エネルギー学会と共催で、第5回北海道支部研究発表会・第5回北海道エネルギー資源環境研究発表会を開催(札幌)の予定。

##### 東北支部

- 1) 平成16年10月~12月に第24回東北支部講演会・見学会を開催(郡山)の予定。

##### 東海支部

- 1) 東海地区の石油精製会社4社が東海地区の大学生を対象に夏休み1週間程度の研修セミナーを行うインターンシップ事業を助成する。

##### 関西支部

- 1) 平成16年春に第12回学生企業見学会を開催の予定。
- 2) 平成16年秋に第10回関西支部セミナーを開催の予定。
- 3) 平成16年12月に日本エネルギー学会と共催で第13回研究発表会を開催の予定。

##### 中国・四国支部

- 1) 平成16年冬に第9回技術交流会を開催の予定。
- 2) 平成16年11月18日(木)、19日(金)(予定)の松山大会(第34回石油・石油化学討論会)開催にあたり実行委員会を組織し、支援する。

##### 九州・沖縄支部

- 1) 平成16年8月に学生会員のための講習会を開催(福岡)の予定。
- 2) 平成16年11月に南九州化学工学懇話会と共催で講演会を開催(鹿児島または宮崎)の予定。
- 3) 平成16年12月に第3回九州・沖縄支部講演会・見学会を開催(北九州)の予定。

#### (2) 広報活動

- 1) ホームページの内容の一層の充実、維持管理に努める。
- 2) 石油学会から発進する情報、提言を検討する。
- 3) 昨年同様、学会活動を適宜新聞各社に紹介する。

#### (3) ジュニア・ソサイアティ(JPIJS)の活動

- 1) 平成16年5月21日(水)に第53回研究発表会に併せて「第9回若手研究者のためのポスターセッション」を企画し、実施する。
- 2) 平成16年夏~秋に第3回JPIJSセミナーを開催予定(九州)。
- 3) 平成16年10月に九州地区幹事会ならびに講演会を開催予定。
- 4) 平成16年11月に関東地区見学会を開催予定。
- 5) 平成16年秋に北海道・東北地区セミナーを開催予定。
- 6) 平成16年秋に石油学会関西支部との共催で宿泊セミナーを開催予定。

- 7) 平成17年3月に北海道・東北地区講演会を開催予定。
- 8) 平成17年3月に九州地区見学会あるいはセミナーを開催予定。
- 9) 関東地区講演会を開催予定(時期・場所未定)。
- 10) ペトロテックの「JPIJSだより」およびホームページにて、各地区の行事の案内、結果報告などの広報活動を行う。

## 5. 学術刊行部門

- (1) ペトロテック(一般誌、月刊)ならびにJournal of the Japan Petroleum Institute(論文誌、隔月刊)を発行する。本年度より論文誌のオンラインジャーナルを冊子体とともに発行する。
- (2) 単行本「石油辞典」の編集作業を開始する。(2005年秋刊行予定)

## 6. 研究・技術交流部門

- (1) 表彰
  - 1) 石油学会表彰規程により表彰を行う。
  - 2) 野口記念賞表彰規程により表彰を行う。
- (2) 教育委員会  
移動大学「石油関連セミナー」を前年に引き続き開催する。
- (3) 国際交流  
受託業務を通じて、産油国研究者との現地交流として第14回日本-サウジ合同セミナー(サウジ)の開催、第6回日本-クウェート研究交流(クウェート)及び産油国研究者の受入(7名)を実施する。
- (4) 受託業務
  - 1) (財)国際石油交流センターからの受託事業として、産油国研究者との現地交流(第14回日本-サウジ合同セミナー及び第6回日本-クウェート研究交流)および産油国研究者の受入を実施する。
  - 2) (株)石油産業技術研究所から「国内市場車の運転性能調査」および「ディーゼル車の燃料供給システム調査」の受託調査を実施する。
  - 3) (独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構から「油中ポンプ保全技術合理化に関する調査研究」の受託調査を実施する。
  - 4) 外部団体からの調査・研究の受託については積極的に取り組む。
- (5) 外部団体に対する協力  
他学協会、その他関連団体からの事業の共催、協賛などの要請があった場合は、理事会の審議を経て協力する。

## 7. 部会部門

- (1) 資源部会
  - 1) 平成16年7月23日(金)に「資源講演会」を企画し、実施する。
  - 2) 平成16年11月18日(木)、19日(金)に開催の「第34回石油・石油化学討論会」においてセッションを企画し、協力する。
- (2) 精製部会
  - 1) 平成16年10月20日(水)、21日(木)に「精製講演会」を企画し、実施する。

2)平成17年2月10日(木)に「第30回精製パネル討論会」を企画し、実施する。

(3)石油化学部会

- 1)平成16年11月18日(木)、19日(金)に開催の「第34回石油・石油化学討論会」においてセッションを企画し、協力する。
- 2)平成16年12月3日(金)に「触媒シンポジウム」を企画し、実施する。
- 3)「ケミカルプロダクツシンポジウム」および勉強会を企画し、実施する。
- 4)「バイオテクノロジーシンポジウム」および勉強会を企画し、実施する。
- 5)「反応分離シンポジウム」および勉強会を企画し、実施する。

(4)製品部会

1)平成16年12月2日(木)、3日(金)に「石油製品討論会」を企画し、実施する。

2)ガソリン分科会

- a)(株)石油産業技術研究所の依頼により、国内市場車の運転性調査を実施する。
- b)CFRオクタン価のリサーチ法およびモーター法JIS規格改訂作業に協力する。
- c)第34回CFRオクタン価要求値試験を実施する。

3)燃料油分科会

- a)(株)石油産業技術研究所の依頼により、ディーゼル車の燃料供給システムに関する調査及び実走試験を実施する。
- b)JIS規格CFRセタン価試験方法の改訂作業に協力する。

4)潤滑油分科会

- a)エンジン汚れ評価法のJPI規格普及のため、レイティングシンポジウムを開催する。
- b)自動車用歯面損傷に関するギヤ評価法の検討を行う。
- c)JPI-5S-29-88[潤滑油せん断安定度試験方法]の規格改訂審議を行う。

5)アスファルト分科会

- a)昨年に引き続き、SHRP(新道路研究計画)バインダー試験方法について検討を行う。
- b)JPI-5S-31-88[アスファルト混合物からのアスファルト回収試験方法]の見直し作業を行う。

6)絶縁油分科会

- a)平成16年6月4日(金)に「第24回絶縁油研究発表会(京都)」を企画し、実施する。
- b)絶縁油の水素ガス吸収性について調査・検討を行う。
- c)絶縁油と絶縁物の水分平衡関係について調査・検討を行う。

7)試験分析分科会

- a)昨年に引き続きJPI-5S-23-84[エンジン油の軽油希釈率試験方法]の見直し作業を行う。
- b)昨年に引き続きJPI-5S-24-84[エンジン油のガソリン希釈率試験方法]の見直し作業を行う。
- c)昨年に引き続き残留炭素分試験方法の試験精度の把握を検討する。
- d)本年度よりJPI-5S-49-97[石油製品-炭化水素タイプ試験方法-高速液体クロマトグラフ法]の見直し作業を行う。
- e)本年度よりJPI-5S-63-2002[石油製品-硫黄分試験方法]の見直し作業を行う。
- f)本年度よりガソリン中の酸素分試験方法について検討を行う。

(5)装置部会

(5-1)装置委員会

1)平成16年12月9日(木)、10日(金)に「第35回装置研究討論会」を企画し、実施する。

2) 機器分科会

機器分科会関係規格の見直し及び回転機専門委員会の活動を昨年に引き続き実施する。

3) 配管分科会

フランジ専門委員会、バルブ専門委員会、ガスケット専門委員会、管及び管継手専門委員会、配管基準専門委員会の活動を昨年に引き続き実施する。

4) 設備保全分科会

a) 設備技術専門委員会の活動を昨年に引き続き実施する。

b) 平成 16 年 9 月 10 日(金)に「第 17 回設備保全分科会シンポジウム」を企画し、実施する。

5) 計装分科会

a) 平成 17 年 3 月 3 日(木)に「第 22 回計装研究討論会」を企画し、実施する。

b) 計装技術専門委員会の活動を昨年に引き続き実施する。

6) 電気分科会

a) 平成 17 年 2 月 17 日(木)に「第 5 回電気研究討論会」を企画し、実施する。

b) 電気専門委員会の活動を昨年に引き続き実施する。

7) 保安分科会

保安分科会の活動を昨年に引き続き実施する。

(5-2) 設備維持規格委員会

石油精製業の事業所における設備の性能を維持し、事故の防止と保安の確保を図るために、事業所内における設備の維持規格の制定及び改訂作業を実施する。

(6) 経営情報部会

下記WGを設置し、調査・検討を行う。また適宜、部会招待講演を企画し、実施する。

a) 「石油業界向けパッケージソフトの調査」

b) 「製油所内ネットワークにおけるWINDOWSプラットフォーム利用の問題点の調査」

(7) 新エネルギー部会

a) 平成 16 年 4 月 16 日(金)に「新エネルギー部会講演会」を企画し、実施する。

b) 今年度より「水素・燃料電池分科会」を設立する。

8. 認証部門

(1) 溶接士の認定事業

前年度に引き続き認定事業を行う。

(2) 標準物質の認定事業

a) 現在実施中の重油硫黄分、重油窒素分、重油ニッケル分、バナジウム分、FIA用、軽油硫黄分標準物質、標準ガソリンおよび軽油流動点標準物質の認定事業を継続する。

b) 軽油低硫黄分標準物質の認定を検討する。

(3) 設備維持管理士の認定事業

前年度に引き続き認定事業を行う。